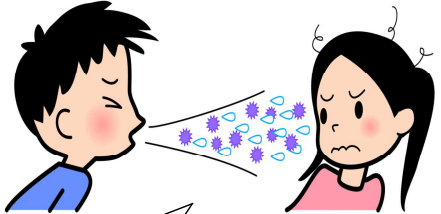
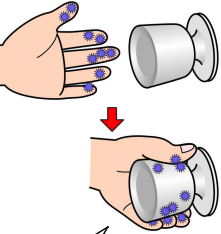




最近本校では、「感染性胃腸炎」や「インフルエンザ」、「溶連菌感染症」に罹って出席停止になった人が増えてきています。感染症の特徴を理解し、適切に予防しましょう。また、世界的問題になっている「新型コロナウイルス」の予防にも、手洗い・うがい・咳エチケットなどの感染対策が重要です。

	感染性胃腸炎	インフルエンザ	溶連菌感染症
潜伏期間	ノロウイルスは 12～48時間	平均2日 (1～4日)	2～5日
感染経路	飛沫感染・接触感染 経口（糞口）感染 ノロウイルスは貝などの食品を介しての感染もある。 便中に多量のウイルスが排出されて感染源となる。 吐物にもウイルスが多量に含まれていて、感染源となる。 乾燥してエアロゾル化した吐物が感染源となる空気感染（塵埃感染） 感染力は急性期が最も強く、便中にウイルスが3週間以上排出されることもある。	飛沫感染 接触感染  飛沫はおしゃべりで口元から約1m、咳で3m、くしゃみで5m飛び散る	飛沫感染 接触感染  ウイルスや菌がついた手で触り、次に触った人へ
症状	嘔吐と下痢が突然始まることが特徴。 脱水・けいれん・肝機能障害・脳症などを合併し、命に関わることもある。脱水に対する予防や治療が大切。	悪寒・頭痛・高熱で急激に発症する。頭痛とともに咳・鼻汁が始まる場合もある。倦怠感・腰痛・筋肉痛・のどの痛み。嘔吐・下痢・腹痛が出現することもある。脳症を併発すること有り。	発熱・のどの痛み。頸部リンパ節炎。子供に多くみられるが、成人が感染すること有り。

嘔吐物を適切に処理しよう

ノロウイルスに感染した人の吐物には1gに100万個程度のノロウイルスが含まれているそうです。10個程度のノロウイルスで人を感染させることができ、1gの吐物で10万人を感染させることができるといわれています。

この時期、体調が悪くて嘔吐した時、「もしかしたらノロウイルスに感染しているかもしれない？」と思って適切に処理しましょう。



0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液で浸したペーパータオルなどで嘔吐物を拭く取りめます。その後再び次亜塩素酸ナトリウム水溶液を浸したペーパータオルなどで覆い、10分間放置し、床を消毒します。

★次亜塩素酸ナトリウムは市販の塩素系漂白剤の成分です。漂白剤の原液10mlに対し水500mlを加えることで濃度が約0.1%になります。
★使用したペーパータオルは、ビニール袋に入れて、0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液をかけて消毒してから処分します。